

「ひじき刈り (美津島北部小学校)」



私たちはこの笑顔を守ります

「赤米の田植え (豆酸)」



新議員17人を紹介します

NEW

議席番号 氏名

- 常任委員会・特別委員会
(◎委員長 ○副委員長)

※議席順に掲載。

議長

はる た しん いち

17 春田 新一



よし の はじめ

2 吉野 元

- 産業建設委員会
- 国境離島活性化推進特別委員会
- 議会広報編集特別委員会



はり や ひろ き

1 針谷 広己

- 総務文教厚生委員会
- 議会運営委員会
- 議会広報編集特別委員会
- 長崎県病院企業団議会議員



やす た とし かず

7 安田 寿和

- 総務文教厚生委員会



さい き たつ や

6 佐伯 達也

- 産業建設委員会
- 議会運営委員会
- 国境離島活性化推進特別委員会



うち やま きち ひさ

5 内山 吉寿

- 総務文教厚生委員会
- 国境離島活性化推進特別委員会



は た まさ かず

13 波田 政和

- 産業建設委員会
- 議会運営委員会



くろ た あき お

12 黒田 昭雄

- 産業建設委員会



わき もと ひろ き

11 脇本 啓喜

- 総務文教厚生委員会
- 議会広報編集特別委員会
- 長崎県病院企業団議会議員

新しい対馬市議会が スタートしました



ひがし けい いち
4 東 圭一

- 産業建設委員会
- 議会運営委員会
- 議会広報編集特別委員会



もろ まつ せ り な
3 諸松 瀬里奈

- 総務文教厚生委員会
- 議会広報編集特別委員会
- 長崎県後期高齢者医療広域
連合議会議員



いと せ まさ ゆき
8 糸瀬 雅之

- ◎産業建設委員会
- 議会運営委員会
- 国境離島活性化推進特別
委員会



さか もと みつ ひろ
10 坂本 充弘

- 総務文教厚生委員会
- ◎議会運営委員会



す やま そう たろう
9 陶山 荘太郎

- ◎総務文教厚生委員会
- 議会運営委員会
- 国境離島活性化推進特別
委員会



いと せ まさ ゆき
8 糸瀬 雅之

- ◎産業建設委員会
- 議会運営委員会
- 国境離島活性化推進特別
委員会



副議長
しま い しん ご
16 島居 真吾

- 産業建設委員会
- ◎議会広報編集特別委員会



おお うら たか し
15 大浦 孝司

- 総務文教厚生委員会
- 国境離島活性化推進特別
委員会



うえ の よう じろう
14 上野 洋次郎

- 産業建設委員会
- ◎国境離島活性化推進特別
委員会

令和7年第2回対馬市議会定例会の概要

令和7年第2回定例会が6月27日から7月11日(15日間)の日程で開かれ、議長、副議長の選挙、常任委員会及び特別委員会の委員の選任等が行われました。14件の提出議案等について審議され、一般質問は12人が登壇し、活発な議論が展開されました。



主な議案等

予算案 2件

(令和7年度対馬市一般会計予算 ほか)

全件 可決

条例改正案 4件

(対馬市厳原自動車教習場条例の一部を改正する条例 ほか)

全件 可決

議決案 5件

(対馬ふるさと伝承館の指定管理者の指定について ほか)

全件 可決

その他 3件

(国境離島活性化推進特別委員会の設置に関する決議 ほか)

(※) 対馬市議会令和7年第2回定例議会において直ちに
長崎県病院企業団議会議員報告を議題とする提案に
係る緊急動議

2件 可決・
(※) 1件 否決

※ 議案、審議結果は対馬市議会
ホームページに掲載しています。

議案



審議結果



全国市議会議長会永年勤続議員等表彰

全国市議会議長会第101回定期総会において、本市議会から4名の議員が表彰され、7月1日の定例会本会議前に表彰伝達式が行われました。



地方行政委員会感謝状
初村 久藏

議員25年以上
作元 義文

議員15年以上
小田 昭人

議員20年以上
上野 洋次郎

常任委員会審査報告

総務文教厚生委員会報告

委員長 陶山 莊太郎

付託案件審査報告

【議案第37号】令和7年度対馬市一般会計補正予算（第2号）

●主な歳入の内訳

- 土地売却収入の計上
- 普通交付税、ながさきピース文化祭関連補助金の追加
- オーバーツーリズム対策・物価高騰対策・生活保護適正化事業等の国庫支出金の計上及び追加

●主な歳出の内訳

- 旧雑知国地用地分筆登記委託料、縦貫バス事業委託料、峰行政サービスセンター空調機補修工事請負費、バス券売機設置補助金、定額減税給付金、市民課職員人件費、生活保護システム改修委託料の計上
- 豆酥窓口センター職員人件費、定住支援住宅修繕費、給食共同調理場エアコン改修費、自動火災報知設備更新負担金の追加
- 航路燃油対策負担金の減

◆委員からの意見◆◆◆

- 市民生活や高校生通学への配慮、給食共同調理場の就労環境改善を継続的に取り組んでもらいたい。

【議案第39号】対馬市総合計画等審議会条例の一部を改正する条例

●改正内容

- （委員数）20人以内↓35人以内
- （任期）審議終了時↓2年（再任可）

- 学識経験者及び関係者の意見聴取規定を新設

●改正理由

- 総合計画と総合戦略の一体化による効率化と、多様な分野の意見を聴取し、慎重な審議を図るため。

◆委員からの意見◆◆◆

- 委員選任時には、福祉関係者の参画、地域・性別の偏りへの配慮を求める。

【議案第40号】対馬市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

●改正内容

- 代表監査委員の区分の新設
- 月額報酬117,800円（7月1日施行）
- 改正理由
- 職責に応じた報酬額を設定するため。

◆委員からの意見◆◆◆

- 他市と比較した上で、増額を検討する必要があるのでは。他の特別職の報酬見直しも必要では。

◆審査結果◆◆◆

- 【議案第37号】 原案のとおり可決
- 【議案第39号】 原案のとおり可決
- 【議案第40号】 原案のとおり可決

産業建設委員会報告

委員長 糸瀬 雅之

付託案件審査報告

【議案第37号】令和7年度対馬市一般会計補正予算（第2号）

●主な歳入の内訳

- オーバーツーリズム対策事業補助金及び長崎県初期投資促進事業補助金の追加
- 道路橋りょう補助金及び道路橋りょう債の減

●主な歳出の内訳

- 対馬ふるさと伝承館の指定管理料及び新規就農総合支援事業の初期投資促進事業補助金の計上
- 月額会計年度任用職員報酬（国際交流員2名分）、対馬ふるさと伝承館の修繕費、漁業用燃油高騰対策補助金及びオーバーツーリズム対策事業委託料の追加
- 市道道路改良工事費の国の内示に伴う減

【議案第42号】対馬ふるさと伝承館の指定管理者の指定について

- （指定管理者）株式会社 K-code
- （指定管理期間）令和7年10月1日から令和12年3月31日まで
- （指定管理料金）5年間
総額6,895千円
- （営業時間）午前11時から午後3時まで
毎週木曜日 休業予定

◆委員からの意見◆◆◆

- オーバーツーリズム対策事業に関しては、過去の事業内容を検証し、韓国人観光客の旅行形態の変化や、トラブル案件を調査して、啓発動画を作成してほしい。

◆審査結果◆◆◆

- 【議案第37号】 原案のとおり可決
- 【議案第42号】 原案のとおり可決

市政を問う 12名の議員が一般質問

◆市議会議員選挙の結果



糸瀬 雅之議員

(糸瀬) 今回の対馬市議会議員一般選挙の結果を踏まえ、対馬市民の選挙の争点は何であったと考えられるか。

(市長) 非常に意欲ある若い世代が当選されたことで、市政の新たな局面を迎えると期待している。当選された議員の選挙公約では、開かれた市政運営や議会改革など、市民目線による施策及び行政と議会との連携を一層期待する、市民からの力強いメッセージが反映された結果と考えられる。

(糸瀬) 選挙の結果を踏まえ、市長の市政運営の今後の考えの変化や、対馬市の喫緊の課題や新規事業等に取り組み考えは。

(市長) 私自身が進める市政運営や喫緊の課題は、議員の皆様が選挙公約で掲げている思いと同じであり、施策についての变化はない。新たな取組を進めるにあたっては、議員各位の御意見や専門的な知見が不可欠であると考えている。

◆学校給食費

(糸瀬) 学校給食費の子育て世帯への負担軽減措置として、補助金の活用を考えているのか。

(市長) 今年度に入り、対馬市内全ての小・中学校で、物価高騰による食料品の値上げの影響を受け給食費も高くなっている現状である。市としては、昨年度からの保護者負担増についての軽減措置として、差額分を全額相当補助することとし、6月定例会最終日に補正予算として提案する予定である。

◆厳原小学校の建替え



陶山 莊太郎議員

(陶山) 建替え用地等の再検討状況は。

(教育長職務代理者) 厳原市街地には、他に学校用地として適切な場所がなく、現敷地内で建替えを計画。今後は、9年間の工期短縮を図るため、近隣学校の活用等を含め、関係機関等と再度検討する。

(陶山) 保護者や周辺住民への説明の実施は。

(教育部長) 工期の短縮、児童及び保護者や周辺住民への影響を検討し、早期に説明ができるよう計画を精査する。また、保護者に理解を得た後、周辺住民に説明する。

(陶山) 円滑な工事実施のため、十分に理解を得ることを要望する。

◆学校等の体育館の整備

(陶山) 美津島体育館女子

トイレの整備は。

(教育部長職務代理者) 地盤沈下による排水不良のため、和式トイレ2つが使用不能であり、今後は洋式化も含め、計画的に改修する。

(陶山) 同施設は、避難所等に指定され、改修の優先順位は高いのでは。

(市長) 避難者が多くなつた時には、支障が出ると思われるので、優先的に改修予算をつけたい。

(陶山) 学校体育館の照明交換は。

(教育部長職務代理者) 学校からの修繕依頼により、今年度は5校の改修を行う。鶏鳴小学校は、補正予算を要求し、早急に改修する。

◆国家戦略特区制度の導入

(陶山) 例えば、ドローンやライドシェア等の導入検討は。

(市長) 検討中だが、導入には至っていない。有効なものは、安心安全を優先し、効果的な運用方法について協議を重ねる。

(陶山) 善処を要望する。

市政を問う 12名の議員が一般質問



波田 政和議員

◆久田堀田地区水路

(波田) 久田堀田地区水路破損疑いによる、畑への水害対策と生活道路整備の進捗は。

(市長) 早期着工し、完了している。

◆久田小・中学校へのメイン通学路の河川側伐採整備

(波田) 小・中学校へのメイン通学路である、久田簡易郵便局前の隅切り部分から、道路拡張に関しても進捗は。張出通路部分の河川整備についてと、久田地区を流れる河川から、延命寺下たまり部分の伐採及び、ヘド口撤去の着手は。

(市長) 道路拡張工事は、今年度用地買収を行う計画である。河川の伐採については、早急に処理するが、

ヘド口除去及び、その他の要望は、優先順位を決め、着手する。

◆流動人口対策強化のための取り組み

(波田) 人口流出に歯止めがかかない今日、対馬市の具体的な取り組みを再確認したい。未だ流出を止める成果が見えにくい。定住人口促進を前面に出し、住みやすい地域づくりが対策に繋がるのではないか。また、内外でご活躍の人材を観光大使等に起用し、全国にPRする考えはないか。

(市長) 島をPRするため多方面への情報発信に努めており、赤米大使をはじめ、対馬に関する有名人の方々にも協力依頼をしていきたい。また「日本一」とPRできるものを模索していきたい。



諸松 瀬里奈議員

◆空港・港の駐車場確保

(諸松) 送迎用駐車場確保のために駐車場の一部を、60分以上の利用は、有料にしてはどうか。

(市長) 各施設は県の所管であり、駐車場の拡張について検討を行っている。有料化については県内の他施設の状況を調査した上で、協議を進める方針。

◆公共施設の屋根を利用した太陽光パネル設置

(諸松) 災害時でも貴重な文化財を守るため、対馬博物館の大きな屋根を活かして太陽光パネルの設置を再検討してはどうか。

(市長) 対馬博物館の電気代は年間約2,100万円、年間維持管理費の約27%を占める。太陽光パネル設置は現段階で計画してい

ない。建設時に検討したが、建物の基礎強化に伴う建築費の大幅増により断念した経緯がある。災害時の非常用電源の導入は費用面で断念。ただし、停電後数時間は温湿度が維持できる構造で設計されており、収蔵資料を損なう可能性は低い。

(諸松) 予算をかけずに太陽光パネルを設置できるエネルギーサービス契約(PA契約)を検討してはどうか。最近、窓にも設置できる軽量太陽光パネルも販売されている等、技術革新が進んでいるので、再度情報収集を求める。

◆議会開催の告知方法

(諸松) 現役世代への周知が不足している。各種SNSやアプリのコンセプトを整理し、分かりやすい情報発信体制を。

(市長) 今後は対馬市公式LINEを活用し、より身近なツールで情報を得られるよう努める。

市政を問う 12名の議員が一般質問



協本 啓喜議員

◆上対馬病院建替え後ろ倒し

(協本) 上対馬病院建替え後ろ倒しについて、今後その対応策は。

(市長) 国に過疎債の増額を求め、可能な限り現在の機能を有した病院建設を強力に推進する。

(協本) 後ろ倒しになったことで、現在の建替用地を再検討する猶予ができた。市民からの要望があれば、北部対馬アクションプランの場合で再検討する用意はあるか。

(市長) 上対馬病院の老朽化は著しく、再検討すれば竣工が遅れる。遅れば遅れるほど病院機能が縮小される可能性が高まる。少しでも早い竣工が市民のためになる。建替用地の再検討はしない。

◆旧浅海中学校跡地を防衛省に売却し、陸上自衛隊の訓練場とする計画

(協本) 私は頭からこの売却計画に反対しているわけではない。小船越区の戸主会は、全会一致で反対している。地区住民は今後も丁寧な説明を望んでいる。ヘリコプターや空砲訓練時にどの程度の騒音・振動があるか、実体験頂けるようにお願いしたい。

(市長) 空砲は可能であるが、ヘリコプターは自衛隊も訓練日程が決まっているので、要望をしている。

(協本) オスプレイ活用訓練、実弾射撃訓練等に関して九州防衛局は「今のところはしない」という回答であるが、住民はなし崩し的に進められるのではと心配している。売買契約時に何らかの条件を盛り込めないか。

(市長) 契約に盛り込むことが可能か、別の申合せ事項になるか、九州防衛局と調整が必要と考えている。



吉野 元議員

◆対馬のしいたけ産業の現状と支援策

(吉野) しいたけ生産は対馬市の主要産業の一つ。最盛期以降、生産量と生産者ともに減少し、産業が途絶えることを危惧。今後のしいたけ産業の維持、発展への支援策は。

(市長) 関係機関と連携し「対馬しいたけ復活プロジェクト」を開始。原木調達、生産品質向上、販路開拓を支援。「しいたけ生産推進補助金」では、植菌個数に応じた支援を実施。原木調達への支援サービスも開始。農業次世代人材投資事業により人材確保も進め、産業の維持に努める。

(吉野) 「島おこし協働隊」を活用できないか。販路開拓は、高級店への直販や地産地消の仕組みを導入すべき。具体的な支援メニューや計画を「見える化」して、

生産者等の関係者に提供してほしい。

◆藻場再生の取組状況と今後の対策

(吉野) 今年鴨居瀬では天然のヒジキが乾燥250キロ以上収穫できたと聞いた。全島の磯焼け対策の成果や今後の具体的な取組みは。

(市長) この5年間で約6億3,000万円が投じられ、食害魚の駆除が約16万3,000尾、ウニが約300万個駆除される等、効果がみられる。駆除された魚類は、飲食店や学校給食に供給されており、地域の流通体制も整っている。藻場の回復へは食害対策と環境変化への適応が重要だが、迅速な効果発現は難しい状況。駆除活動を継続的に拡大し、安定した予算確保に向けて国や県に要望を行う方針。

(吉野) 全島的に磯焼け状況を情報収集し、どの場所でも藻場再生の可能性があるかを特定することが必要。モデル地域で集中的に予算や人的資源を投入する等、戦略を作って進めていくべき。

市政を問う 12名の議員が一般質問



安田 壽和議員

◆地域包括ケアシステム

(安田) へき地からの移動手段の確保については、公共交通機関の不足や運転免許返納後の移動支援が深刻となっている。高齢者の移動支援の施策対策は。

(市長) 対馬市地域公共交通計画を策定し、路線バス、市営バス、コミュニティバス、スクールバス、混乗、乗り合いタクシー等、その都度対馬交通やタクシー協会と協議を重ね、現在51路線を運行している。

(安田) 生活支援(買い物支援他)事業の状況について。
(市長) 各地域内の連携と近隣住民の助け合いが必要であることから、生活支援に取り組む36グループの発足と運営を支援している。令和7年度は、買い物支援

を行っている地域の数の目標を、6地域として取り組みをしている。

◆県立豊玉高等学校の存続

(安田) 近年、生徒数の減少に伴い入学生も減少し、豊玉高校の存続に大変危機感を持っているが、その対策は。

(市長) 生徒の学力向上と就学経費の負担軽減を目的とした「対馬市高等学校魅力化支援補助制度」を設けて、学習に専念できる環境を確保している。また、豊玉高校では県遠隔教育授業の受講が出来るよう、本市より支援員を配置し、授業のサポートを行っている。

◆市道仁位貝鮎線の改良計画

(安田) この路線は、観光バスの往来や真珠養殖場への通勤で交通量が多い路線であるが、進捗状況と完成予定は。

(市長) 令和7年度末で35%の進捗率で、完成予定は令和12年度を目標としている。



針谷 広己議員

◆対馬島内の産婦人科医療体制の維持

(針谷) 島原半島や新上五島町で分娩が困難な状況に陥り、対馬市でも同様の状況になることが懸念される。現状をどう見るか。

(市長) 令和6年度の出生数は113人で、うち対馬病院での出産は70人、里帰り出産が11人。産婦人科体制は、小児科を含めた島内医療機関と連携して維持したい。

(針谷) 分娩数の維持には、里帰り妊産婦の受け入れ強化が必要ではないか。

(市長) 現時点で大きな問題ではないが、将来的な減少を見据え、早めに対応する必要がある。仮に分娩が困難になった場合には、市として最大限支援する覚悟だ。これらの医療提供体制の整備確保は、市民の安全

と安心を守るための最優先課題の一つとして取り組んでいく。

(針谷) 島内で分娩が困難になった際には、交通費や宿泊費の助成制度の創設が必要。

◆庁舎建て替えとデジタルの活用

(針谷) 新庁舎整備にあたり、デジタル活用の現状はどうか。

(市長) 職員個人が使用するパソコンの持ち出しは可能だが、紙決裁が主であるため、庁舎外での業務は困難な状況。今年度は電子決裁システムを導入する予定。

(針谷) 窓口業務改革とデジタルインフラ整備の方針は。

(市長) 19部署による部会で職員が窓口体験調査を実施し、課題を分析した上で改善を進めている。庁舎設計段階から関係部署と協議し進める方針。

(針谷) 厳原庁舎をはじめ、庁舎の老朽化が進んでおり、庁舎の再編と窓口業務の抜本的見直しが必要。

市政を問う 12名の議員が一般質問



東 圭一議員

◆インバウンドからの入島税の導入

(東) 十分な観光インフラが整備されていない現状では、心から観光客を歓迎できる体制とは言えない。持続的な観光振興を図るには、財源の確保が必要不可欠である。

(市長) 入島税の導入は慎重な判断が必要であり、早急な検討は現在考えていない。観光インフラ整備は、現在徴収している国際ターミナル等使用料を有効に活用していきたい。

(東) 入島税を徴収して、観光推進に生かし、その観光の恩恵を市民生活にいか還元できるかが、今後の観光政策の成否を左右する重要なポイントだと思う。

◆文化・スポーツで頑張る子供たちの遠征費の支援

(東) 助成の増額、それと適用範囲拡大を検討できないか。

(市長) 長崎県下の他市町よりも手厚い補助を行っている状況、現状での対応をしてみたい。

(東) 見知らぬ相手、そして強豪校との練習試合を経験することは、心と体の準備運動となり、子供たちの自信と成長に直結すると確信している。

◆対馬市の魅力発信強化

(東) 全国に点在する数多くの離島の中で、対馬が選ばれた存在となるためには、受け手の目線に立ったマーケティングとSNSを通じた戦略的なブランド発信が重要になると考える。

(市長) 今後は、SEO(検索エンジン最適化)の強化やご利用者の視点に立った情報提供を更に重視し、島外の皆様から対馬に行きたい、対馬に住みたいと感じて頂けるよう発信に努めていく。



佐伯 達也議員

◆観光地整備と安全対策

(佐伯) 金田城登山口駐車場の確保及び、金田城・白嶽を含めた通信状況の改善が出来ないか。

(市長) 金田城に関しては、特別史跡に指定されており、現状変更が非常に難しく、対馬市としても駐車場等の整備を検討してきたが実現できていない。現状変更が難しくトイレの設置についてもトイレカーという形で対応せざるを得ない状況である。通信状況の改善は携帯電話会社が対応するかどうかは難しく、市としては登山ルートとの明確化と登山アプリの利用の促進によって、安全対策の向上に務めている。

◆県道24号線 箕形く吹崎加志間のトンネル工事の進捗状況

(佐伯) 箕形く吹崎く加志

間のトンネル工事の進捗状況と、取り付け道路の状況について。

(市長) 箕形く吹崎間のトンネルについては、照明設備、非常用設備等の設置工事及び取付道路の工事を進めているが、開通時期は未定である。吹崎く加志間のトンネルについては、本年度から用地買収に取り掛かり、進捗を考慮しながら工事に着手する予定であり、完成時期については未定である。

◆箕形縣ノ浦圃場への海水流入

(佐伯) 令和4年7月の水害によって崩壊した護岸の復旧工事後も海水の流入が止まらないが、今後の対策は。

(市長) 令和6年10月に県所管のボックスカルバートを修理し、12月には対馬市管理のフラップゲートを修理したが、現地調査の結果、いずれも修理不十分な箇所があるとの事なので県と連携して対応していく。

市政を問う 12名の議員が一般質問

◆帯状疱疹ワクチン定期接種化



黒田 昭雄議員

(黒田) 今年度から帯状疱疹ワクチンの定期接種が始まった。助成対象者だと気付かない方がいるので、対象者に個別連絡をすべきではないか。

(市長) 努力義務のないB類疾病であるため個別通知はしないとしてきた。罹患や重症化予防のためには効果的であるので、個別通知の実施に向けて準備を進める。

◆一次産業の担い手確保のための仕組みづくり

(黒田) 一次産業を本業として別の仕事を副業とする支援制度を設けているが、私は逆に一次産業を副業に、又は一次産業同士でもいいと考える。

(市長) 一次産業を副業と

すること、市民の所得向上はもとより農林水産業の生産量の増加につながる。従来からの事業を強力に推進していくとともに、一次産業を副業とする方への支援は、対馬市第一次産業プラス副業支援事業の本年度以降の事業ニーズを把握した上で、条件等を精査しながら拡充を図っていく。

◆食品ロスの削減

(黒田) 宴会の最初の30分と終わりの10分は食事に集中する3010運動がある。ホームページに掲載しているが、具体的にどう取り組むのか。

(市長) 生ごみが発生する前の食品ロス削減への取り組みも非常に重要。今後、飲食店等と連携し3010運動をはじめ、食品ロス削減の趣旨を広く周知し、この運動の実践を呼びかけていく。またSDGsの観点からも、市民一人一人が食品ロス削減の重要性を理解し、行動につなげていただけるよう取り組みたい。

◆放射性廃棄物の最終処分場のゆくえ



大浦 孝司議員

(大浦) 特定放射性廃棄物の最終処分場誘致の行方について把握している情報を申し上げる。北海道寿都町、神恵内村が文献調査受入を表明して、やがて4年が経過する。2年前寿都町長が対馬市議会に提出した意見書は、現実の姿ではないとの内容が記載されている抗議文が町民の会より発信されている。町長はテレビ局のインタビューに「90億をゲットし最後まで行くつもりはない。交付金をもらって何が悪い。」と回答した等、分断状況下にある。また、北海道には市民科学者の会が存在しており、資料によると予定箇所は活断層の上にあつて適地になることは絶対ありま

せん。と記載されている。そして佐賀県玄海町が昨年受入を表明したが、予定の地下は鉱物(石炭)資源が存在している。経産省が掲げる適当でない場所とは、火山帯付近、活断層付近、鉱物資源が地下にある場合とされている。3地区進捗状況に対馬市長は何かコメントはあるか。

(市長) 他の自治体のことを申し上げることは控えたい。

◆カーボンニュートラル2050の最先端地域の実現

(大浦) カーボンニュートラル2050の最先端地域の実現について、この件では、過去2回に渡り今後の方針を尋ねたが前進の兆しはない。

(市長) これまで2度程、「島の海と陸を豊かにする会」の代表と接したが具体的な提案は受けていない。しかし、当法人と本市の事業が共通する取組であればお会いすることに異存はない。

議会だより「つしま」発刊によせて

対馬市議会議員 春田 新一



市民の皆様には、日頃より対馬市議会に対しまして格別のご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、対馬市議会では、市議会の活動状況等について、市民の皆様への情報提供を充実させるため、議会だより「つしま」を発行しております。

CATVによる議会中継を視聴いただき、本会議における議員活動はご存じのことと思いますが、常任委員会や特別委員会等における議員活動については、市民の皆様には十分伝わっていないところであります。広報紙の発行により、開かれた議会を目指し情報発信することで、市民の皆様へより一層ご理解いただけるものと考えております。

先の市議会議員一般選挙により、議会広報編集特別委員会も新体制となりました。今後も市民の皆様にご愛読いただける広報紙を提供してまいりますので、様々なご意見ご要望等お寄せいただけることを願うものであります。

編集後記

対馬市議会議員一般選挙も終わり、新人7人を含め、17人の方々が当選されました。選挙後、初めての6月定例会において、各常任委員会の顔ぶれも決まり、決意も新たに対馬の未来を思い描かれていると思います。

さて、今夏は日本全国が猛暑に見舞われ、例外に漏れず対馬も「今日も暑いですね・・・」の挨拶が飛び交ったのではないのでしょうか。

私達、議会広報編集特別委員会も新人4人を迎え、その若い発想力と行動力に大いに期待するとともに、市民の皆様と親しまれる紙面作りに努めていきたいと思っております。どうぞご期待ください。

まだまだ暑さは続きますので、健康に留意され、残暑を乗りきられることを願っております。(文責…島居真吾)



議会広報編集特別委員会

脇本 啓喜・東 圭一・諸松 奈奈
針谷 広己・島居 真吾・吉野 元